

# 仲町病後児保育室 保健だより 1月



## 手足口病

手足口病は、ウイルスによって起こる感染症です。

夏に流行することが多いですが、近年は季節はずれの流行もみられます。

治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されるので、予防としては日頃からのしっかりした手洗いが有効です。



**潜伏期間:** 3～5日

**感染経路:** 飛沫感染・接触感染・糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染する事)

**症状:** 発熱することはありませんが、高熱が続く事はほとんどありません。

口の中・手のひら・足底や足背等に 2～3mmの水泡性発疹ができます。

発疹はかさぶたを残さずに 3～7日で消失します。

**治療:** 基本的には対処療法です。

高熱が何日も続いたり、嘔吐・頭痛・視線が合わない・呼びかけに答えない・呼吸が早くて息苦しそう・水分が取れずにおしっこがでない・ぐったりしている等の症状がみられた場合はまれに髄膜炎や脳炎を起こすことがあるので、すぐに医療機関を受診しましょう。

口内の水泡が潰れて口内炎が出来ている場合は、辛い物や硬い物等・刺激のある飲食物は接種しない様に、やわらかくて喉ごしの良いものを摂りましょう。

